

都道府県名：石川県 団体名：小松東部土地改良区

地域

小松東部土地改良区がご活躍されている石川県小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央にあって、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。

東には、霊峰白山がそびえ、そのすそ野には緑の丘陵地、そして、田園、平野が広がっており、それを縫うように梯川が流れ、安宅の海に注いでいます。

経緯

小松東部土地改良区の受益地は、一級河川梯川を用水源としてかんがいでいるが、この梯川は大雨ごとに氾濫し、末端用水路も未整備だったため、湛水、干ばつ被害が頻発し、水争いが絶えなかった。これら地域紛争を解決すべく、明治24年4月に「軽海用水普通利水組合」を設立、昭和26年2月には土地改良法に基づき「小松東部土地改良区」に組織変更、以後、数回にわたり幹線用水路である「軽海用水」及び頭首工等の改修工事を実施、用水の安定供給と湛水・干ばつ被害の防止に努めています。

功績内容

- ・明治24年の水利組合設立以降120年にわたり軽海用水を管理し、用水を安定供給することにより、小松市中央地域の穀倉地帯の形成に貢献してきた。
- ・地域住民と連携した清掃ボランティアや歴史を伝える水土里の語り部活動など、広く住民に親しまれる用水となる活動に努めている。



軽海用水頭首工



軽海用水



地域住民による清掃ボランティア活動



水土里の語り部活動